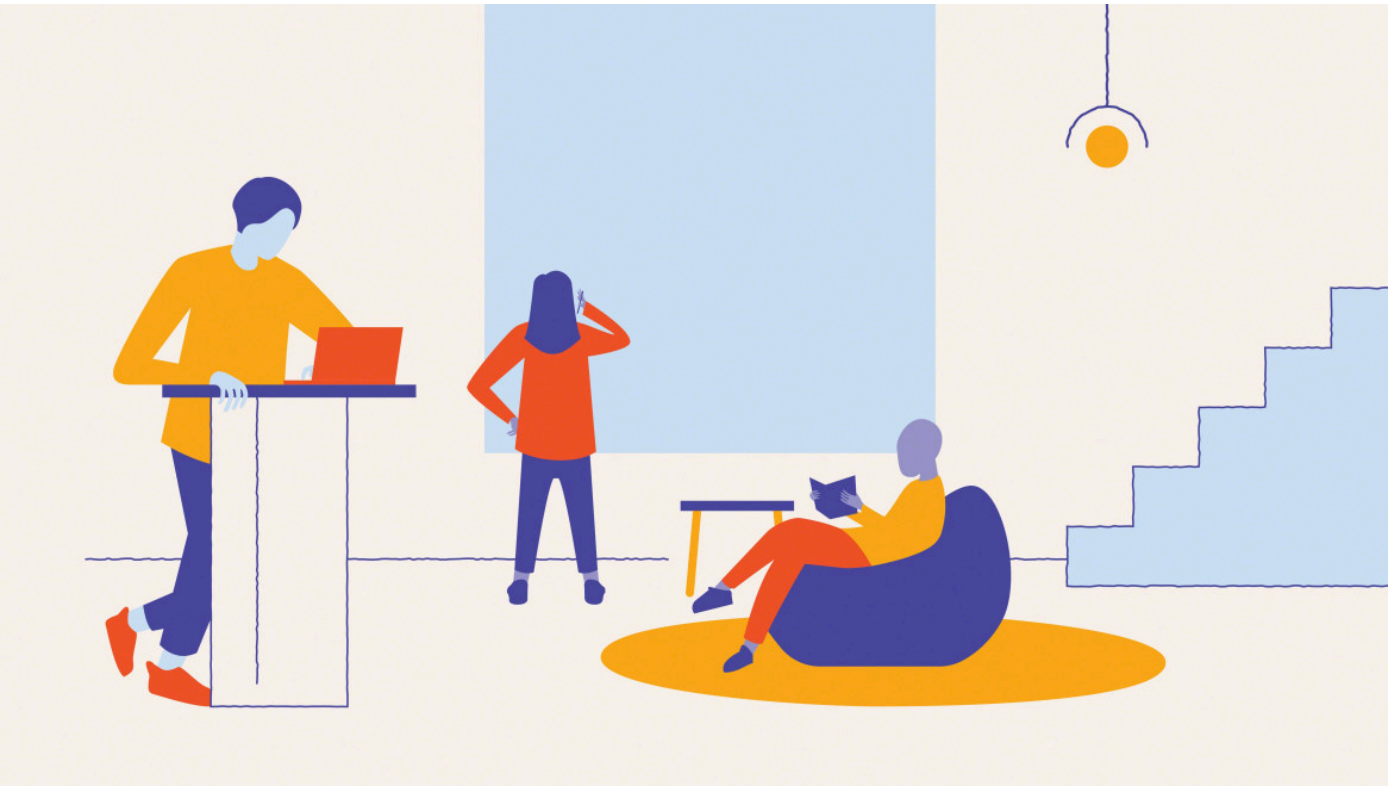
ウェルビーング

# 買い手市場

Read 20分



デジタル変革が企業の業績を左右する時代に突入した。企業の意思決定がよりデータ主導になったり、デジタルツールに投資したりなど、企業はテクノロジーを活用しながら効率性を改善し新たな方向性を打ち出そうとしている。

実際、企業経営層の87%はデジタル化が企業の至上命題のひとつだと捉え*、2020年までにデジタル化が売上の半分以上に影響を及ぼすだろうと予測している人はその半分近くにも及ぶ。

その中で先進的企業は、事業で成功するにはテクノロジー導入だけではなく、事業改善のためにテクノロジーを扱う「人材」の重要性を実感し始めている。テクノロジーに精通した高度なデジタルスキルを持つ人材にとっては、まさに「ホーム」となる企業を選びとることになり、それが買い手市場になっている。

こういう状況が、人材獲得競争において福利厚生や給与より何が強みになるのかを改めて企業に考えさせるきっかけになっている。

**「提供する製品やサービスに関係なく、あらゆる企業はテックカンパニーになり、この事実を受容できる企業がこれからの世界をカタチづくっていくでしょう。」**

フォーブステクノロジーカウンシル、2017年1月

## 過剰な求人情報

求人数が増えるにつれ従業員は忠誠心を失い、どこで働くかにより慎重になる。

**350万**

退職を選んだ人数

**170万**

解雇された人数

ギャラップの調査によると、従業員が仕事を辞める主な理由は企業風土や仕事内容が合わないことにあるという。そして、従業員の**51%**がより柔軟な勤務時間を提供する企業に転職すると回答した。

**756,000**

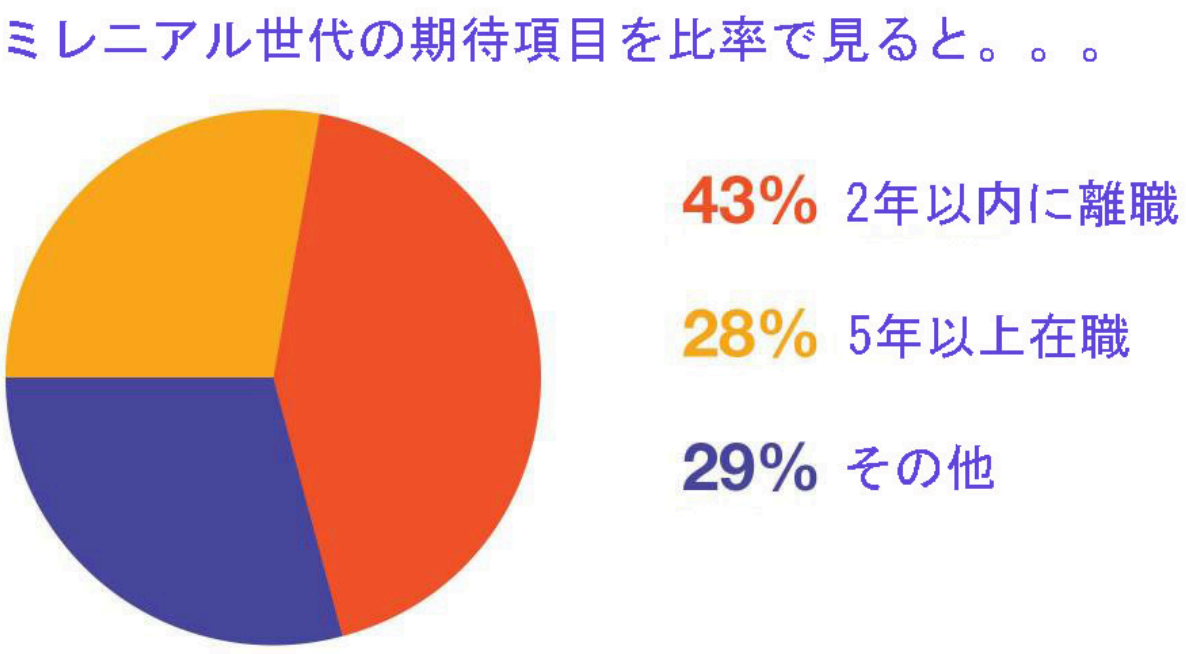
ヨーロッパで2026年までにITや通信技術職が不足する数



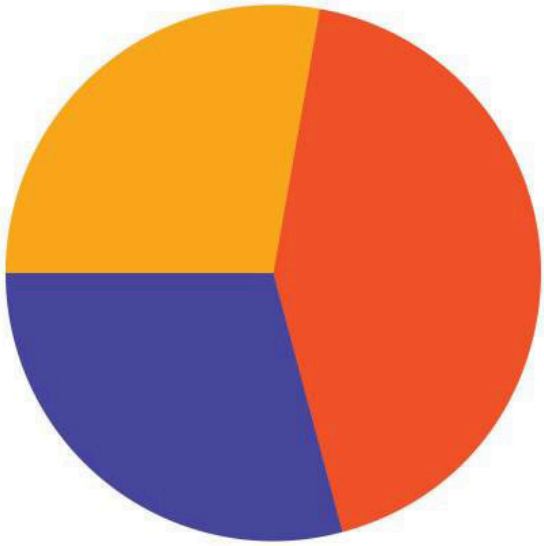


## モバイルで働くミレニアル世代

若い世代が労働力に加わるにつれて就業ニーズの多様化や早期離職も珍しくない時代に入った。



# ミレニアル世代の期待項目を比率で見ると。。。

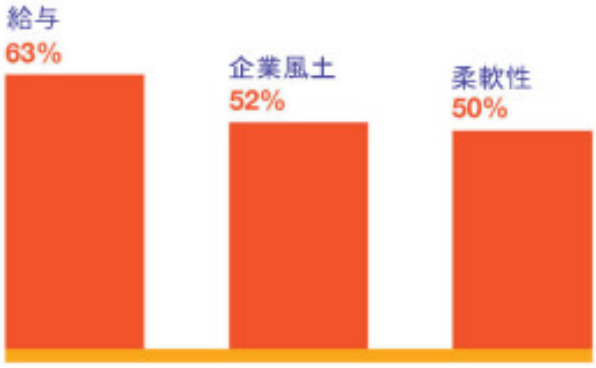


**43%** 2年以内に離職

**28%** 5年以上在職

**29%** その他

ミレニアル世代が重要視するものとは?




以下の条件があれば5年以上会社に勤務してもいいと考えるミレニアル世代の比率

**55%**
どこでいつ働くかを選択できる

**69%**
多様性のある組織で働ける 5

高度なスキルを持つ従業員は「ホーム」ともいうべき職場に何を求めているか?



**78%**

野心：キャリア構築やスキルアップに積極的である。6

**62%**

企業風土：給与より企業風土にいかにフィットするかを考える。6

**51%**

ワークライフバランス：ワークライフバランスを重視している。6

**69%**

スキル開発：専門性におけるスキル開発が見込めなければ職を辞退するだろう。6

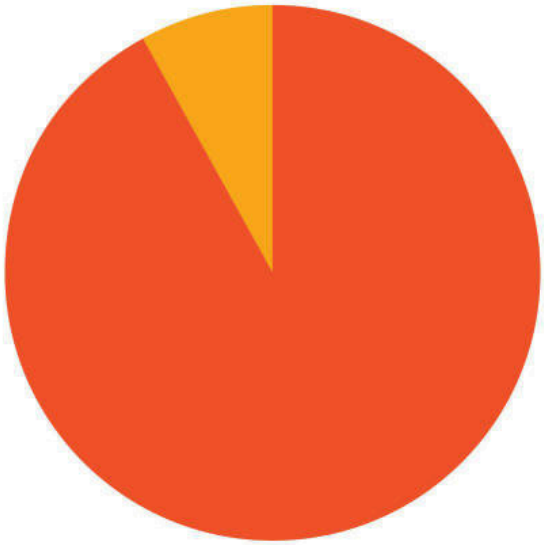
**28%**

忠誠心：5人未満の会社で働くことも考えている。6

**53%**

健康：会社は従業員の健康やウェルネスにもっと注力して欲しいと思う。4

**仕事に意欲的な従業員は、目的意識が高い会社で働く可能性が3倍も高い。**



**93%**

会社は従業員ウェルビーイングに関心を持っていると答えた労働意欲が高い従業員比率 8

**出典元：**

(1) U.S. Bureau of Labor, December 2018 (2) State of the American Workplace, Gallup, 2017 (3) Empirica, Working Paper: e-skills in Europe, 2015 (4) Future of Skills Report for the Executive Council of AMCHAM EU May 2018 (5) Deloitte Millennial Survey, 2018 (6) Hays What Workers Want Report 2017 (7) Mercer Talent Trends, 2017 (8) Engagement and the Workplace, 360 Steelcase Global Report, 2016